

Inkscape使い方講座



目 次

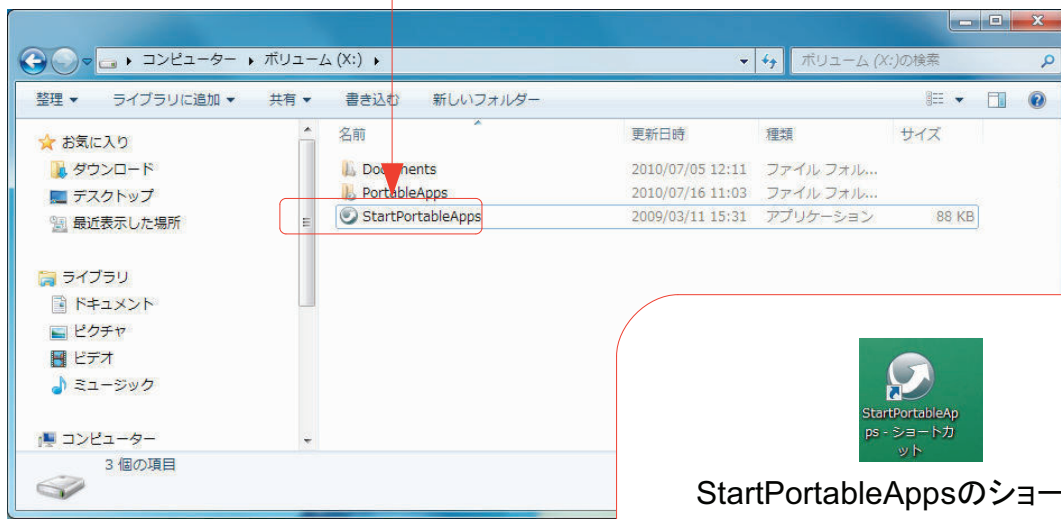
1	起動方法	1
2	Inkscape画面名称	2
3	ツールの種類	3
4	コマンドバーのアイコン種類	5
5	画面の表示＞画面の拡大・縮小	6
6	画面の表示＞ガイド線	9
7	画面の表示＞グリッド線	11
8	操作の取り消し、やり直し	13
9	ドキュメントの設定＞用紙サイズ、ページの向き	14
10	オブジェクトの選択(選択ツール)	15
11	オブジェクトの移動	17
12	オブジェクトの削除	18
13	オブジェクトの拡大・縮小	19
14	オブジェクトの変形	20
15	オブジェクトの回転	22
16	オブジェクトを描く＞四角形	23
17	オブジェクトを描く＞円	24
18	オブジェクトを描く＞星型	25
19	オブジェクトを描く＞多角形	26
20	オブジェクトを描く＞螺旋(うずまき)	27
21	オブジェクトを描く＞フリーハンド	29
22	オブジェクトを描く＞カリグラフィ	30
23	ファイルの操作＞ドキュメントの保存	31
24	ファイルの操作＞既存のドキュメントを開く	32
25	ファイルの操作＞ファイルのインポート	33
26	ファイルの操作＞インポートした画像ファイルの埋め込み	34
27	ファイルの操作＞ビットマップへエクスポート	35
28	フィルとストローク＞図形	36
29	フィルとストローク＞テキスト	37
30	フィルとストローク＞色の変更	38

31	フィルとストローク>ストロークのスタイル	44
32	フィルとストローク>グラデーション	46
33	フィルとストローク>グラデーションの変更	47
34	グラデーション>立体的な球体を作ろう	53
35	レイヤー	58
36	オブジェクト>重なりの操作	62
37	オブジェクト>回転・反転	63
38	オブジェクト>複製	64
39	オブジェクト>グループ化	65
40	オブジェクト>クローン	66
41	オブジェクト>パターン	67
42	オブジェクト>整列・配置	70
43	ペン(パス)ツール>直線を引く	74
44	直線の太さを変える	75
45	直線を破線にする	76
46	直線に矢印をつける	77
47	波線を作る	79
48	ベジェ曲線	81
49	ベジェ曲線>「たまご」型を描く	82
50	ベジェ曲線>ノードの修正	85
51	ベジェ曲線>ノードの追加	87
52	ベジェ曲線>ノードの削除	88
53	ベジェ曲線>ノードの種類の変更	89
54	ベジェ曲線>簡単な方法でハートマークを描く	93
55	テキスト>テキストの入力	98
56	テキスト>テキストの流し込み	101
57	テキスト>テキストをパス上に配置	102
58	テキスト>フォントや配置の変更	103
59	テキスト>テキストの調整	105
60	パスの編集	106
61	パスの編集>「差分」を利用して図形の一部を消す	109

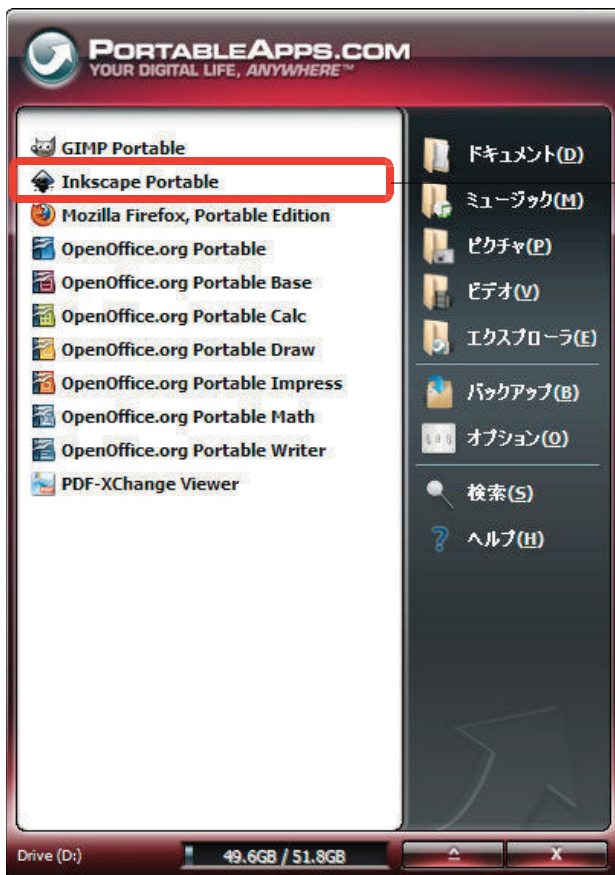
62	パスの編集>オブジェクトをパスへ	111
63	パスの編集>テキストをパスへ	114
64	オブジェクトの編集>クリップ	116
65	オブジェクトの編集>マスク	117
66	ビットマップのトレース	119
67	フィルタ	124
	フィルタカタログ	125
68	エクステンション	145

1.起動方法

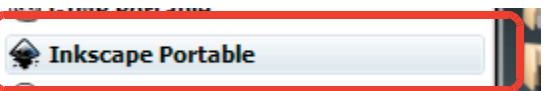
StartPortableAppsをダブルクリックして起動します。



StartPortableAppsのショートカットをデスクトップへ作成しておくとも毎回の起動が簡単です。



Inkscape Portable をクリックし起動します。



2.Inkscape画面名称

メニューバー



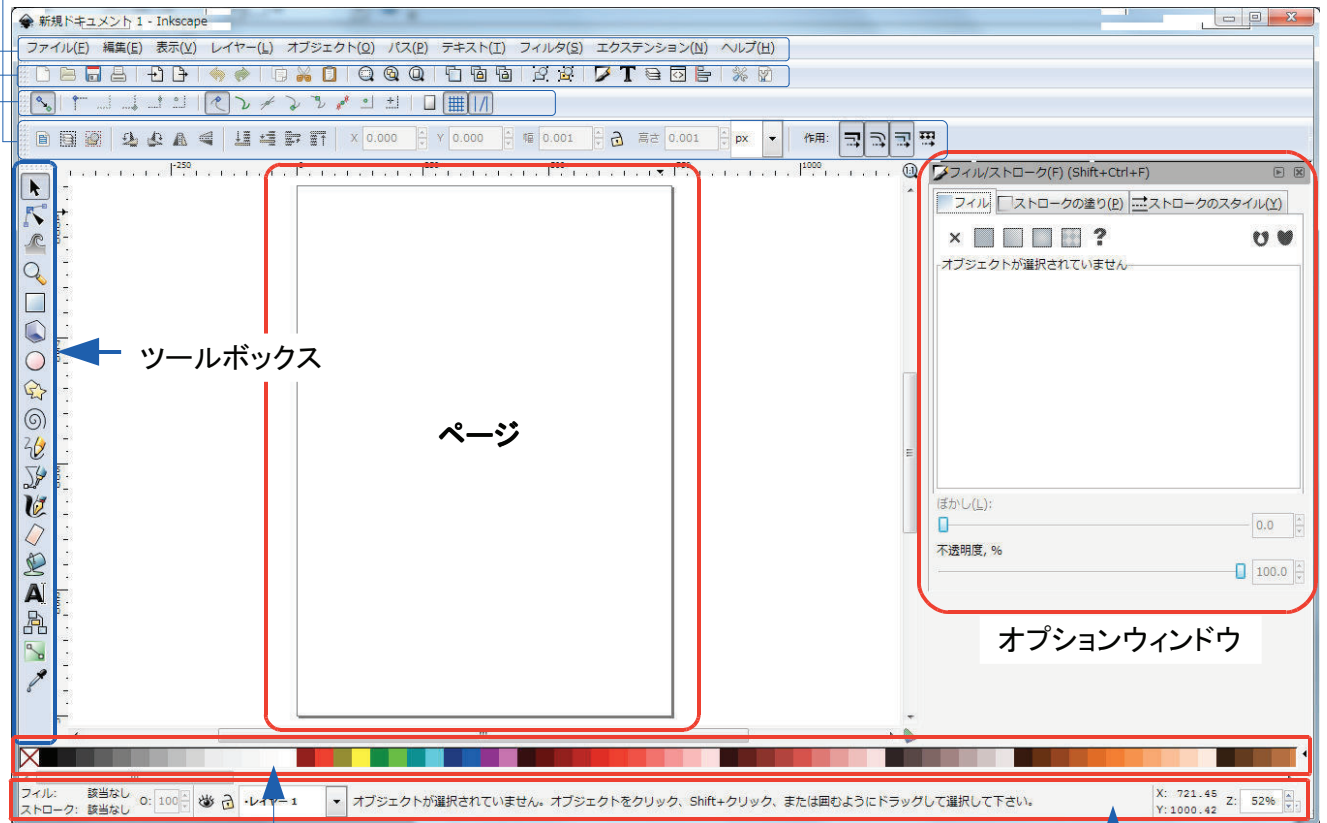
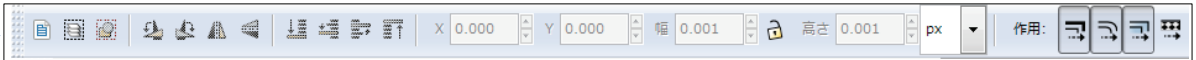
コマンドバー



スナップコントロールバー



ツールコントロールバー








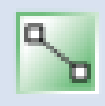

カラーツール・パレット

ステータスバー

3.ツールの種類

Inkscapeでは、操作の基本となるのがツールです。まずはじめに、これらツールの中から操作に応じたツールをクリックし作業を行います。

	選択ツール	オブジェクト(図形1つずつのこと)を選択、移動、変形、回転させます。
	パス・ノードツール	パスのノードやコントロールハンドルを編集します。
	Tweak(動揺)ツール	オブジェクトを波のように変形させます。
	拡大縮小ツール	ページの表示を拡大、縮小します。クリックで拡大、[Shift]キーを押しながらクリックで縮小。
	矩形ツール	四角形(正方形や長方形)の図形を作成します。
	3Dボックスツール	3Dボックス図形を作成します。
	円ツール	円(正円や楕円)の図形を作成します。
	星型・多角形ツール	星型や多角形の図形を作成します。
	渦巻きツール	渦巻き型の図形を作成します。
	鉛筆ツール	フリーハンドの線を描きます。

	<p>ペン(パス)ツール</p>	<p>グラフィックソフト特有のベジェ曲線や直線を描きます。</p>
	<p>カリグラフィツール</p>	<p>ペンで描いたような強弱のついた線を描けます。</p>
	<p>消しゴムツール</p>	<p>オブジェクトや、オブジェクトの一部を削除します。</p>
	<p>バケツツール</p>	<p>パスで囲まれた部分の塗りつぶしをします。アニメやイラストなどの塗りつぶしに多用されます。</p>
	<p>テキストツール</p>	<p>テキストを作成、編集します。</p>
	<p>コネクタツール</p>	<p>オブジェクト同士を線で結びます。系図やフローチャート作成に利用します。</p>
	<p>グラデーションツール</p>	<p>グラデーションを作成します。</p>
	<p>スポイトツール</p>	<p>イメージから平均色を抽出します。</p>

4.コマンドバーのアイコン種類

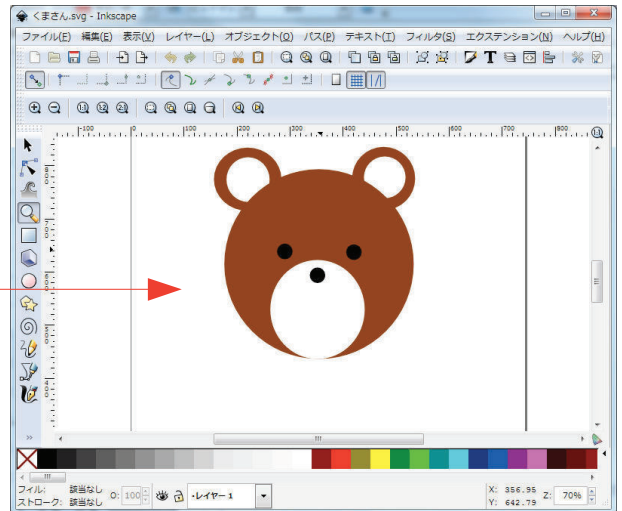
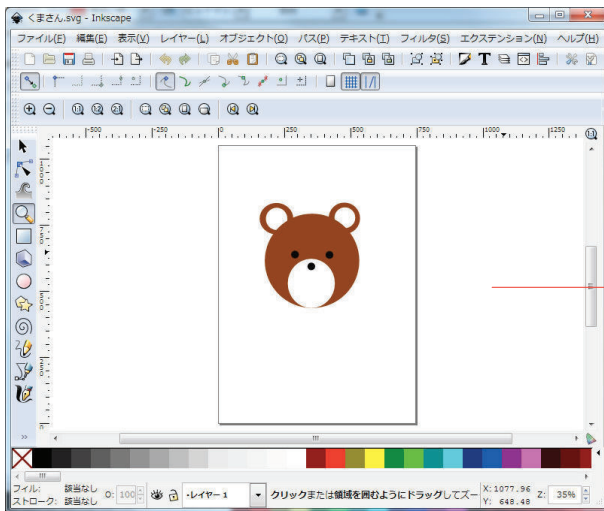
	新規ドキュメントの作成		選択したオブジェクトの複製
	既存のドキュメントを開く		オブジェクトのクローンを作成
	編集中ドキュメントの保存		クローンのリンクを解除
	ドキュメントの印刷		選択したオブジェクトのグループ化
	ドキュメントに画像ファイルなどを インポート(読み込む)		選択したオブジェクトのグループ化を 解除
	編集中ドキュメントをPNG形式の画 像ファイルにエクスポート(出力)		オブジェクトの「フィル/ストローク」 のオプションウィンドウを表示
	操作を元に戻す		テキストとフォントのウィンドウを表示
	操作をやり直す		「レイヤー」のオプションウィンドウを 表示
	選択したオブジェクトをクリップボードに コピー		XMLエディタを表示
	選択したオブジェクトをクリップボードに 切り取る		「整列と配置」のオプションウィンドウ を表示
	クリップボードにコピーしたオブジェクト やテキストを貼り付ける		「Inkscapeの設定」ウィンドウを表示
	選択したオブジェクトを拡大(縮小)して 画面サイズに合わせる		「ドキュメントの設定」ウィンドウを表 示
	すべてのオブジェクトを含んだものを、 画面サイズに合わせる		
	ページ全体を画面サイズに合わせる		

5.画面の表示＞画面の拡大・縮小

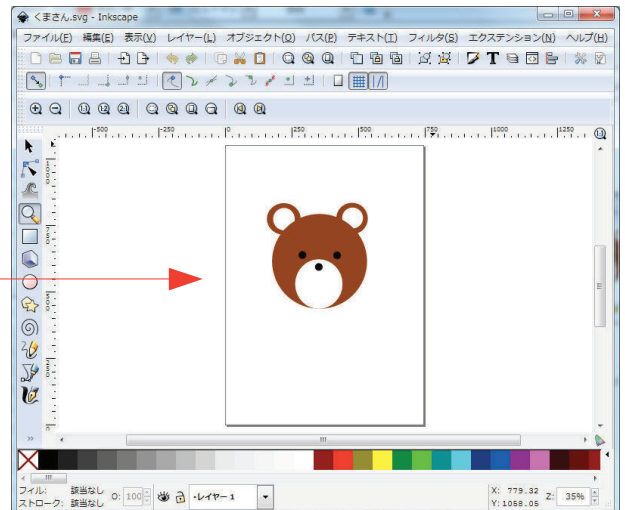
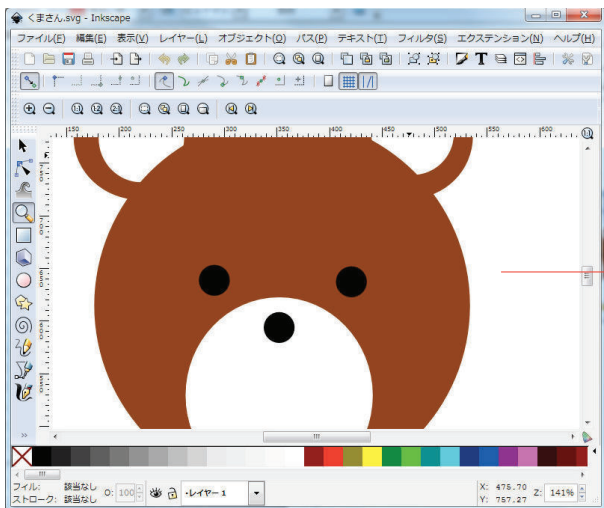


「拡大・縮小ツール」を選択します。

【拡大】 拡大したい場所をマウスでクリックします。



【縮小】 縮小したい場所を[Shift]キーを押しながらマウスでクリックします。



「拡大・縮小ツール」を使わずショートカットキーでの操作

ズームイン : [Ctrl] + 右クリック

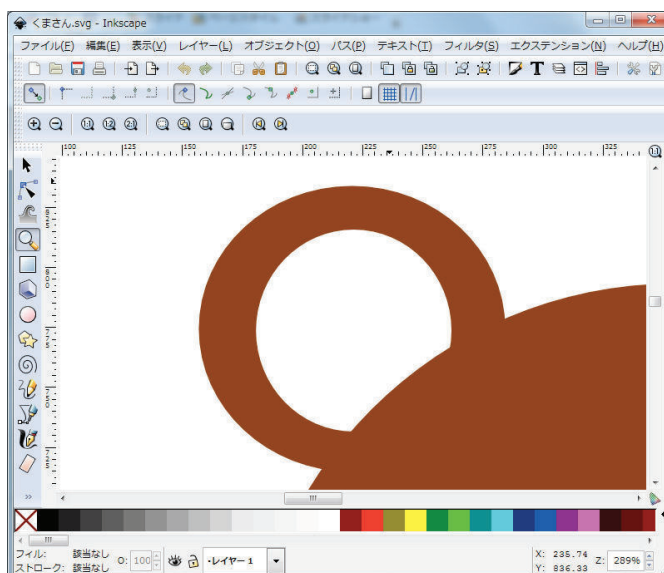
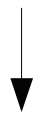
ズームアウト: [Shift] + 右クリック

覚えていると便利です。

必要な一部分を拡大する方法



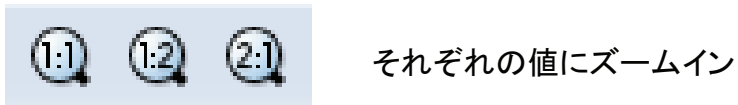
「拡大・縮小ツール」を選択します。



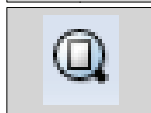
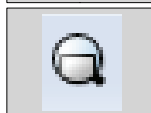
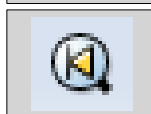



ドラッグした部分が拡大されます。

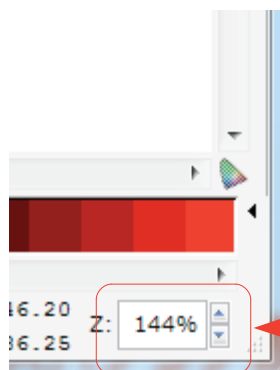
その他の画面の拡大縮小方法

オプションウィンドウから選択しても操作できます。



-  選択オブジェクトを画面に合わせます。
-  描画全体を画面に合わせます。
-  ページ全体を画面に合わせます。
-  ページ幅を画面に合わせます。
-  ズーム履歴を使用して前のズームへ。
-  ズーム履歴を使用して次のズームへ。

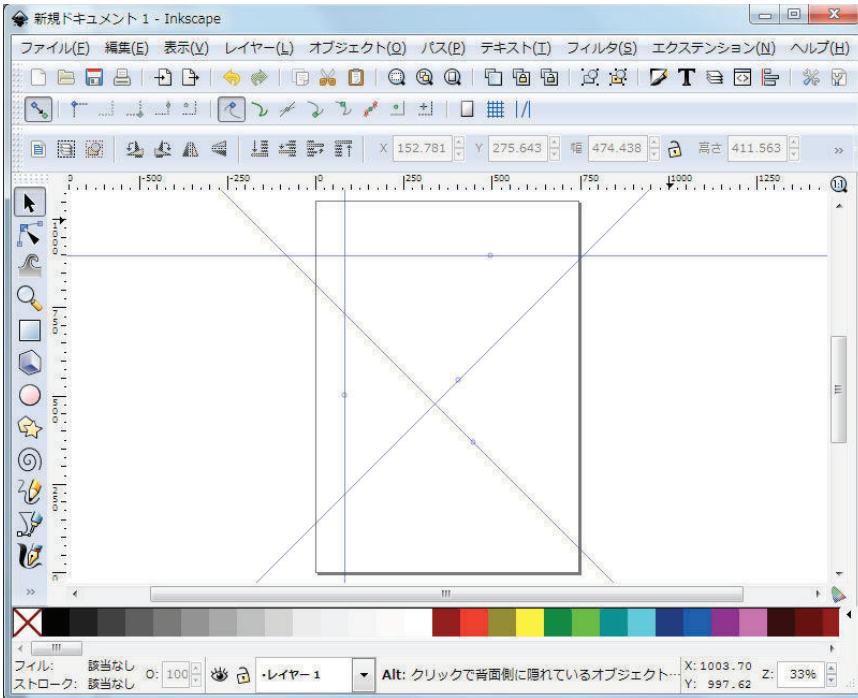
画面右下のズーム値に直接値を入力することでも変更できます。



ここに直接値を入力します。

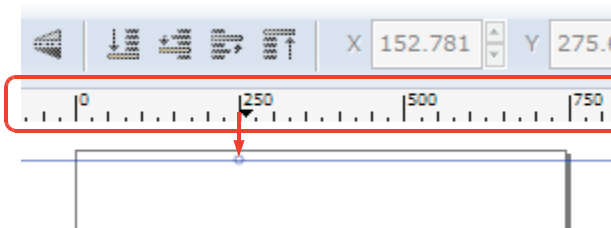
6.画面の表示>ガイド線

画像を配置する場合、直線上に並べたり、垂直水平に配置する時に、ガイドしてくれる線を表示することができます。

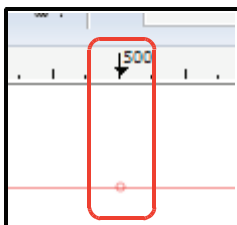


ガイド線は、垂直、水平、45度、-45度の4種類です。
それぞれのガイドは、何本でも表示可能です。

ガイド線の表示の方法



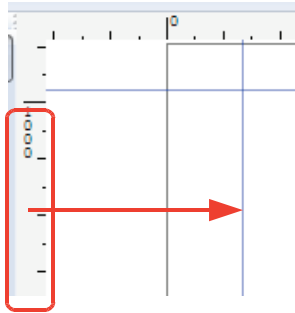
水平線は、上部の定規の中からドラッグして引き出します。引き出した位置に丸いポインターも表示されます。



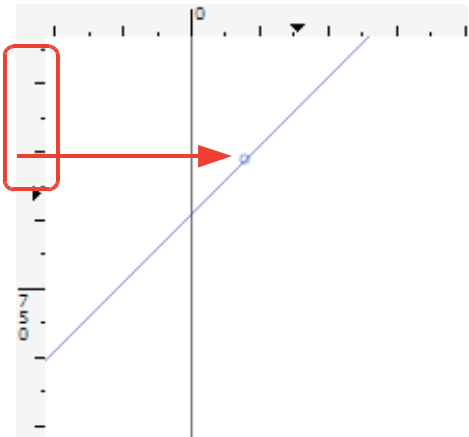
このポインターが定規とリンクしていますので、位置の基準に利用できます。ガイドもポインターも、マウスポインターを乗せたとき、ガイドの色が変わります(デフォルト値では青から赤)。このときにドラッグすると移動できます。



ガイドを消したい時
引き出した時と反対に、ガイドを定規の位置までドラッグします。



垂直のガイド線の表示は、左側の定規の中から引き出します。



45度と-45度のガイドは、左右上の角近くをドラッグすることで引き出せます。

ガイドにスナップ



選択ツールで、オブジェクトを移動したとき、このガイド線に吸着させることができます。この吸着を「スナップ」と呼びます。



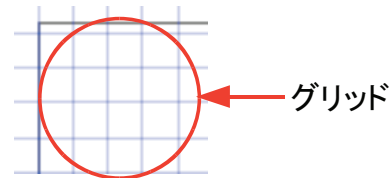
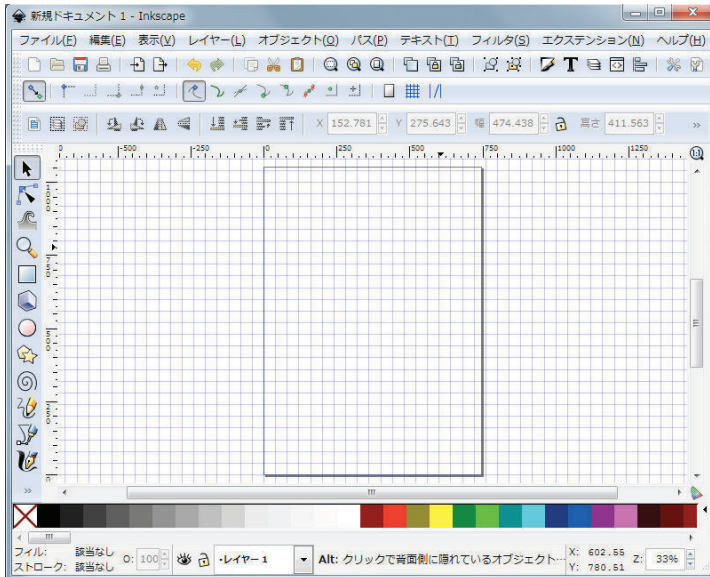
このアイコンですべてのスナップ有効・無効を切り替えます。

ツールコントロールバーの「ガイドにスナップ」をクリックして、外枠で囲まれた状態にすると、オブジェクトをガイド線近くへ移動したときスナップされます。

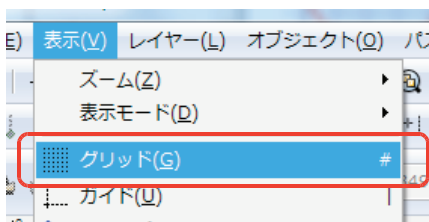


7.画面の表示＞グリッド線

画像を直線上に並べたり、等間隔で配置したりする場合の位置の目安とするために、ページ上に格子状の線を表示することができます。この線を「グリッド」と呼びます。



グリッド線の表示は、メニューバーの「表示」＞グリッドをクリックして表示します。(表示中にクリックすると非表示になります。)



グリッドにスナップ



選択ツールのツールコントロールバーの「グリッドにスナップ」を有効にします。



グリッドの設定

グリッドの間隔は、初期値では1pxですがこれを変更することもできます。
メニューバーから「ファイル」>「ドキュメントの設定」をクリックします。
「グリッド」タブを表示します。

